



2



3

1. 大人から子どもまで多くの人が参加しました／ 2. 手入れされた鳥居を元の場所に戻す／ 3. 赤い糸を引き上げる五十嵐さん



1

糸あげの日

赤い糸を引き上げ 元の風景に戻す

10月28日(土)、展示した《海渡り》の赤い糸を引きあげ、元の風景に戻す「糸あげの日」が開かれました。参加者約50人は102本の糸を濡らさないよう協力して巻きあげ、綺麗に手入れされた鳥居を元に戻しました。最後に、会場に飾られていた「海渡りの日」の参加者の名札が作品と同じ赤い糸が結ばれ、それぞれへ渡されました。



1

1. 景色の良い海辺で直会／ 2. 御神酒や果物などを奉納／ 3. 手を合わせ津奈木のこれからの未来を祈る

弁天様のお祭り

島へ渡り、 津奈木の無事を祈る—

11月9日(木)（旧暦9月26日）、弁天様のお祭りが開かれました。古くから伝えられてきた作法にのっとり、約30名が島へと渡り津奈木の平安を祈願。直会の食事には、祭りにはかせない赤飯や煮しめ、赤崎の郷土料理「ひろす」などが並びました。地域内外から集まった人々は舌鼓を打ちながら、思い出話や地域の未来について語り合っていました。



2



3



↑映像作品は右2次元コードから見ることができます。ぜひご覧ください。



映文連アワード2023

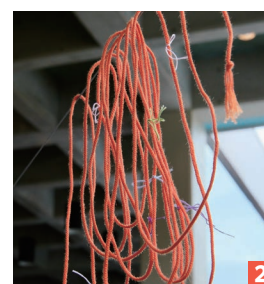
《海渡り》の映像作品が 優秀企画賞に輝く

《海渡り》の制作過程を記録した映像作品が、(公社)映文連文化製作者連盟が主催する「映文連アワード2023」で優秀企画賞を受賞しました。これは全国のプロフェッショナルな短編映像152作品の中から優秀な作品を顕彰するもの。11月末に国立新美術館(東京)で開催された表彰式および上映会の様子は次号でお知らせします。本作品はこのほか、地元サイコウ!映像祭2022、「地方の時代」映像祭2023でも表彰を受けています。



1

1. 保護者の指導を受けながら糸を組む作業に没頭する児童たち／ 2. 来年の《海渡り》で使う予定の糸



2

組紐ワークショップ

みんなで100本の糸を組む

10月26日(木)、津奈木小学校3年生の地域学習として「組紐ワークショップ」が開かれました。児童たちは3グループに分かれ、組紐ワークショップ、風景スケッチ、作品鑑賞を実施。事前に組紐づくりの指導を受けた保護者に作り方を教わりながら、プレスレットほどの長さを組みあげました。そのほか磯遊び

でビナや貝殻を拾うなど、海辺で過ごす1日を楽しんでいました。今年から新たに100mの糸を組む挑戦が始まりました。9月からつなぎ文化センターロビーに制作会場を設けられ、期間中、約300人の参加者が丁寧に糸を組みました。この糸は来年の《海渡り》に向けて完成を目指していきます。